



佐保川沿い平城京史跡と中世の遺産・稗田環濠

観察河川：秋篠川、佐保川、地藏院川、稗田環濠、蟹川

大和川水系の**佐保川流域**を探訪します。佐保川支流の秋篠川沿いの史跡・平城京の西市の物資集積場（船着場）跡、日本最初の貨幣**富本銭**が出土した**九条公園**、佐保川の堰堤下に確認された平城京**羅城門**の跡など、河川を利用した平城京の物資輸送ルートと**南北都市軸**を確認します。羅城門跡の真北に平城宮大極殿院南門（復元建設中～2022/3 予定）が遠望できます。（望遠鏡必要）

平城京城はこれまで羅城門のある九条が南限とされてきましたが、**左京側の十条大路跡や羅城跡が発見され**、それまでの平城京城の定説が見直されています。なお、イオンモール敷地北西角に羅城柱列のモニュメントがあります（今回は行きません）。

昼食は当初イオンモール郡山店で各自食堂利用と考えていましたが、休日の郊外型モールは人出も多く予想され、コロナ対策も懸念されるため、屋外（佐保川堤防）での弁当に変更しました。

佐保川堤防を南下、**枳殻地藏**を経て稗田集落へ。**稗田集落**は古事記の語り部（？）稗田阿礼を祀る**賣太メタ神社**が鎮座する静かな環濠集落で、**稗田環濠**は水利、灌漑、水運、防災、防衛、など多くの機能を持った奈良盆地大和川水系の代表的な環濠です（室町時代形成とされます）。

帰りは**太子橋**、**稗田橋**を渡り、**蟹川の水門**を見学後、北上し郡山旧市街地へと向かいます。郡山城**外堀公園**、紺屋町の**箱本館紺屋**など歴史的町並みを散策、洞泉寺町の**町家物語館（旧遊郭）**で解散とします。町家物語館から**近鉄郡山駅**または**JR 郡山駅**へはそれぞれ徒歩約5分です。なお、帰りのコースは事情で下見できていません。現地対応で実施しますのでご了承ください。

<担当 B グループ浅野>

- 1：日時 2021年7月22日（木）10時30分 非常時中止の場合は前夜メールします
（鶴橋9：40発急行 大和西大寺乗換 10：11発 九条10：17着の電車があります）
- 2：集合 近鉄橿原線九条駅 東口側に集合してください
- 3：持ち物 マスク、弁当、飲み物、雨具、シート、双眼鏡、日傘 等
- 4：目的地 平城京西市船着場跡、富本銭出土地、羅城門跡、稗田環濠、郡山町家物語館
- 5：行程 約6～7km 距離は短く平坦ですが暑さ対策注意！
- 10：30 近鉄九条駅 スタート 0.5km
- 10：40 平城京西市船着場跡（秋篠川） 10：45発 0.3km
- 10：50 富本銭出土地（九条公園） トイレあり休憩 11：00発 1.1km
- 11：20 平城京羅城門跡 & 羅城門跡公園 11：40発 0.7km
- 12：00 枳殻キョク地藏尊 近くで（堤防上または賣太神社）昼食?? 12：20発 1.0km
- 12：40 稗田環濠集落（下ツ道）賣太メタ神社 トイレあり休憩昼食? 13：00発 0.6km
- 13：10 大師橋（地藏院川）& 稗田橋（佐保川） 13：15発 0.2km
- 13：20 蟹川水門（蟹川） 13：30発 0.6km
- 13：40 六地藏&埋め墓 13：50発 1.2km
- 14：10 郡山城外堀公園 14：20発 0.2km
- 14：25 箱本館「紺屋」館内見学（無料） 14：45発 0.1km
- 14：50 箱本町家物語館 着解散 & 解散後館内自由見学（無料）
- 帰路は近鉄郡山駅へ0.5km またはJR 郡山駅へ0.6km

- 平城京西市船着場跡：西市は、東市（奈良市）とともに、日本最初の都城内の官営市場であり、秋篠川にあった船着場は、西市の造営や物資運搬に活用されていたと推測される。
- 富本銭出土地：富本銭は、1999年、明日香村の遺跡から多量に出土し、和同開珎より30年前につくられたわが国最古の貨幣であることがわかっている。九条公園は、1985年に富本銭が初めて発掘された場所。
- 平城京羅城門跡：羅城門は平城京朱雀大路の南端にあり、都の玄関口となる重要な門。昭和10年（1935）に川底から礎石が発見され、昭和47年（1972）に基壇が確認された。門の本体は佐保川の堤防下に位置したと考えられている。
- きこく地蔵尊：奈良時代に、矢田寺参りの分岐点の道しるべとして創設された。周囲に、外部からの災いを防ぐために枳殻（からたち）が植えられたことから、枳殻（きこく）地蔵と呼ばれ親しまれるようになった。堤防の幅を拡げて洪水を流れやすくする工事のため、郡界橋の架け替え工事を行う際に現地蔵堂は平成18年に現在地に移設された。移設前の地蔵尊側にはイチヨウの大木と枳殻の木が生えていた。イチヨウの大については移植を検討したが、移植することができなかった。枳殻の木については、移設後、苗木が地蔵堂裏側に植えられた。
- 稗田環濠集落：環濠集落は、外敵から守るために集落全体が濠で囲まれている形式で、稗田集落は、かつての環濠の姿がほぼ完全な形で残されている。大和平野の環濠の中では古い時代のもの。大和郡山市指定文化財になっている。集落内には**賣太めた神社（稗田阿礼を祀る）**が鎮座する。
- 下ツ道：稗田環濠の西側に南北に通る道は古代の下ツ道とされる。見瀬丸山古墳を起点に藤原京の西四坊大路から北へ奈良盆地の中央をまっすぐ平城京朱雀大路に至る。
- 大師堂跡：大師堂は、大師橋の上流にあった。昔、佐保川が氾濫して、付近の水田に流れ込んだときに、土中から弘法大師の像が現れたために、村人が大師堂を建てて祀ったといわれている。大師堂にあった所蔵品は、常楽寺に保管されている。
- 蟹川水門：佐保川に流れ込む蟹川の水門。城の門のようなデザイン。
- 六地蔵：佐保川西岸の堤防沿いのエノキの大木の下に祀られている。背後には稗田集落の埋め墓がある。「埋め墓」とは遺体を埋葬する墓地で、墓石がなく、こんもりとした小山に卒塔婆が立っている。普段お詣りする墓は「詣り墓」として別にある。
- 箱本館「紺屋」：道路の中央に水路が通り、城の堀とつながっている。両側に軒の低い家並みが続く紺屋町。この水路で13軒の紺屋が染め上げた布や糸をさらしていた。箱本館紺屋は藍染め体験施設。金魚コレクションあり。
- 町家物語館：表窓に細い格子がはまった家並み、木造3階建など江戸初期から続いた傾城町の面影が現存する洞泉寺町の登録有形文化財（旧川本邸）。内部見学可。トイレあり。

なお、昼食場所は現地です。佐保川堰堤上か又は**賣太神社**を想定しています。また、六地蔵以降のコース（郡山旧市街）については下見ができていませんので、現地ですらにぶらつきます。以上ご了承ください
 今度こそ天候に恵まれますように！！ では22日に